

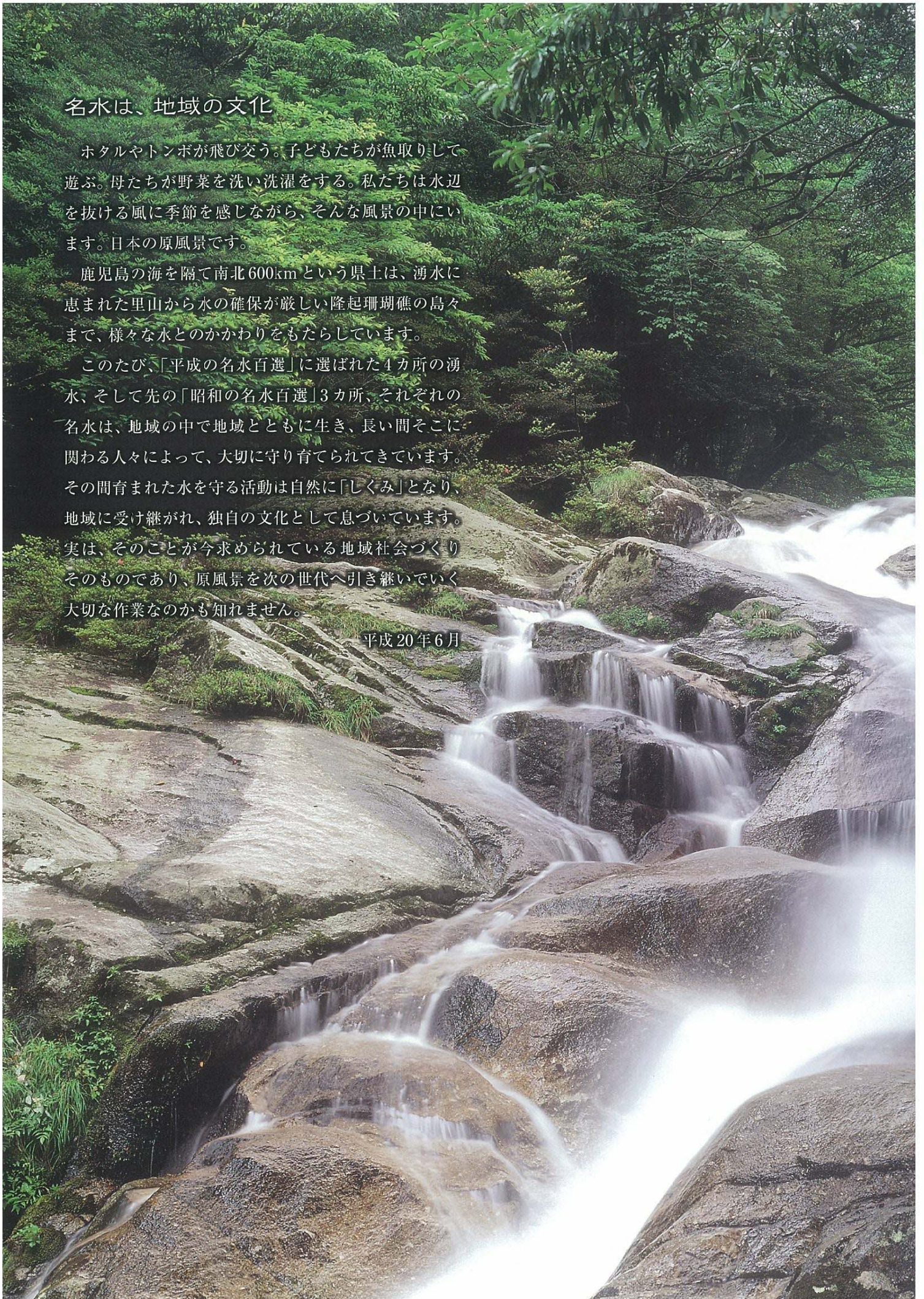
名水は、地域の文化

ホタルやトンボが飛び交う。子どもたちが魚取りして遊ぶ。母たちが野菜を洗い洗濯をする。私たちは水辺を抜ける風に季節を感じながら、そんな風景の中にいます。日本の原風景です。

鹿児島県の海を隔て南北600kmという県土は、湧水に恵まれた里山から水の確保が厳しい隆起珊瑚礁の島々まで、様々な水とのかかわりをもたらしています。

このたび、「平成の名水百選」に選ばれた4カ所の湧水、そして先の「昭和の名水百選」3カ所、それぞれの名水は、地域の中で地域とともに生き、長い間そこに関わる人々によって、大切に守り育てられてきています。その間育まれた水を守る活動は自然に「しくみ」となり、地域に受け継がれ、独自の文化として息づいています。実は、そのことが今求められている地域社会づくりそのものであり、原風景を次の世代へ引き継いでいく大切な作業なのかも知れません。

平成20年6月



「平成の名水百選」

環境省では、「北海道洞爺湖サミット」(平成20年7月)にちなみ、水環境保全の一層の推進を図るため、地域の生活に溶け込んでいる清澄な水や水環境の中で、特に、地域住民等による三体的かつ持続的な水環境の保全活動が行われているものを「平成の名水百選」として、平成20年6月に選定しました。鹿児島県からは、4カ所が選ばれました。

■選定の対象

湧水、地下水、河川等

■重点評価項目

- ・地域住民等による保全活動の状況と効果
- ・水質・水量、周辺環境(景観)、親水性の状況及び地域に密着した水利用状況
- ・故事来歴や希少性、特異性等

■経緯

- ・平成19年12月
県に推薦依頼(環境省)
- ・平成20年1月
市町村に推薦依頼(県)
- ・平成20年3月
環境省に上限の4箇所を推薦(県)
- ・平成20年4～5月
全国から162箇所、審査・選定

<平成の名水百選調査検討委員会委員>

岡田 光正(広島大学教授)
片山 徹(海外環境協力センター専務理事)
小堀 洋美(武蔵工業大学教授)
高樹 沙耶(地上の楽園クリエイター)
田中 正(筑波大学教授)
谷田 一三(大阪府立大学教授)
中曽根英雄(茨城大学教授)
浜本 奈鼓(NPO法人くすの木自然館専務理事)
宮村 忠(関東学院大学教授) 敬称略

- ・平成20年6月5日
「平成の名水百選」の発表(環境省)

- ・平成20年6月25日
認定書の交付式(環境省)

●平成の名水百選(平成20年6月)●

甲突池	鹿児島市(郡山町)	甲突川の源流
唐船峡京田湧水	指宿市(開聞仙田)	池田湖の伏流水
普現堂湧水源	志布志市(有明町)	蓬の郷
ジッキョヌホー	知名町(瀬利覚)	瀬利覚の川

●昭和の名水百選(昭和60年3月)●

清水の湧水	南九州市(川辺町)	清水磨崖仏群
霧島山麓丸池湧水	湧水町(木場)	霧島山麓の湧水
屋久島宮之洞岳流水	屋久島町(一円)	世界自然遺産の島

平成の
名水百選